

—
(水)

主の守りによる脱出

出エジプト記一ニ章29〜51節

四百三十年が終わる、ちようどその日に、主の全集団はエジプトの地を離れた。その夜、主は、彼らをエジプトの地から導き出すために、夜通し見張りをされた。(41、42)

エジプト人の全ての初子が撃たれた夜、イスラエルの人々は男も女も、子ども家畜も一緒になってエジプトを脱出しました。真夜中に急いで国を出ていくにあたり、主が彼らを守られた様子が今日の聖句に記されています。高熱に苦しむ子どものために、母親が寝ずに看病するように、主は寝ないで見張りをしてください。つたといふのです。この神の見守りが彼らをこれからの長い旅路も支えたのです。弱い民であるゆえ、自分たちの力で自らを守ることなど出来ません。しかし、天地を造られた大いなるお方が、眠ることなく守ってくださいなのです。ここに彼らの旅路の秘訣がありました。神は現代の神の民である信仰者に対しても、同じように眠ることなく守ってくださいます(詩編一一一)。自分たちの弱さに思わず天を仰ぐとき、眠ることなく守ってくださいる神に目を留めようではありませんか。